

2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人 とよなかESD ネットワーク

I 事業期間

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

II 事業の成果

本年度は、「豊中市における協働の文化づくり事業」を行政と協働で進めていくことで、過去の協働事例の調査と分析の結果から、より協働を推進していくための方向性を得ることができた。

また、生活困窮世帯に向けた学習支援事業では、ひとり親世帯や外国ルーツの子どもたちへの関わりを実践することができた。関連して「子どもの居場所づくり調査研究」事業では、モデル校区において、子どもに関わる活動をしている団体や学校、地域とのつながりを作ることができた。併せて、社会調査に関わることで、子どもを取り巻く課題に言及し、市の施策に向けて提言を行うことができた。

III 事業の実施に関する事項

1. 協働育成事業

① 学校支援事業

・学校出前授業

【内 容】 ユネスコスクールをはじめとして、小中高等学校への ESD 出前授業やプログラム作りの提案、実施を行なった。

【実施場所】 関西大学、大阪大学、第 16 中学校、千里青雲高校、東淀川高校
大阪教育大学池田附属小学校

【実施日時】 6/26, 10/4, 11/5, 2/7, 2/9

【収 入】 37 千円

【支 出】 35 千円（諸謝金）

・教職員研修

【内 容】 豊中市教職員 10 年目研修にて「学校・家庭・地域の連携」について講演を行なった。

【実施場所】 豊中市教育センター

【実施日時】 6/12, 14

【収 入】 12 千円

【支 出】 5 千円（諸謝金）

② 子ども・若者向け事業

・若者の就労支援プログラムのしくみづくり

【内 容】 日本 NPO センターのサポートを受けながら、（一社）キャリアブリッジが行う定時制高校の居場所「うーぱー」の事業評価の仕組みづくりを行なった。

【実施場所】 若者サポートステーション、桜塚高校定時制

【実施日時】 2018 年 4 月～2019 年 3 月

【事業の対象者】 キャリアブリッジのスタッフ、「うーぱー」関係者

【収 入】 0 円

【支 出】 0 円 (諸経費は日本 NPO センターが負担)

・ チャレンジこども JOB 博 (パーク)

【内 容】 さまざまな仕事のプロに講師となってもらい、こども達にお仕事体験をしてもらった。最終日には、習った仕事を地域の住民に披露する機会を作った。

【実施場所】 庄内公民館、文化芸術センター、庄内駅前

【実施日時】 10/6, 10/20, 10/27, 11/3

【収 入】 173 千 665 円

【支 出】 173 千 665 円 (諸謝金 127 千 80 円、旅費交通費 31 千 280 円、消耗品 432 円、保険料 1800 円、支払い手数料 648 円)

・ 学習支援 (おもろ荘プロジェクト)

【内 容】 学ぶ環境が整っていない子どもや学校に行きにくい中高生の学習支援や生活文化体験を行った。

【実施場所】 とよなかりレーションハウス

【実施日時】 2018 年 8 月～2019 年 3 月

【収 入】 2296 千 26 円 (委託金)

【支 出】 2305 千 991 円 (人件費 1880 千 500 円、旅費交通費 76 千 90 円、印刷製本費 15 千 696 円、消耗品 21 千 353 円、事務用品費 14 千 751 円、賃借料 160 千円、租税公課 2 千 400 円、修繕費 90 千円、保険料 11 千 300 円、支払い手数料 1 千 188 円、新聞図書費 27 千 793 円)

③子ども・若者サポーター支援

・ 「ちゃぶだい集会」子ども若者サポーターネットワーク会議

【内 容】 子どもや若者の支援をしている団体や人が集まり、ゲストの話の聞いたり、課題を共有することで、支援者のモチベーションアップにつなげた。

【実施場所】 しょうないガダバ・リレーションハウス・Cokokara・あたらすファミリーなど

【実施日時】 4/19, 5/28, 6/30, 7/30, 10/30, 1/25

【収 入】 6 千 300 円

【支 出】 11 千 78 円 (人件費 6 千円、旅費交通費 760 円、消耗品費 2218 円)

・ 子ども若者サポートボランティア相談窓口

【内 容】 子ども若者に関わるサポートスタッフの相談や保護者向け相談を行なった。

【実施場所】 リレーションハウス

【実施日時】 2018 年 4 月～2019 年 3 月

【事業の対象者】 子ども若者サポート事業に関わる支援者、行政、事業者、保護者など

【収 入】 【支 出】 学習支援事業に含まれる。

④ 地域の担い手育成

【内 容】 とよなか地域創生塾でのワークショップ講師や塾生サポートを行った。

【実施場所】 豊中市教育センター、起業チャレンジセンターなど

【実施日時】 2018 年 5 月～2019 年 2 月

【事業の対象者】 塾生、豊中市民など

【収 入】 905 千円

【支 出】 324 千 920 円（人件費 304 千円、諸謝金 17 千円、旅費交通費 3 千 920 円）

2. 連携促進事業

①子どもの居場所づくり調査研究

【内 容】 市内4校区の小中学校生にアンケートを行い、子どものニーズを探ったのちに、子どもの居場所づくりを行なっている団体や地域関係者へのヒアリングを行なった。他市の参考事例の視察も行なった。

【実施場所】 リレーションハウス、豊中市役所、モデル校区内各施設など

【実施日時】 2018年10月～2019年3月

【収 入】 4000 千円

【支 出】 2206 千 896 円（人件費 1216 千 500 円、諸謝金 498 千 750 円、交際費 60 千 635 円、旅費交通費 124 千 870 円、印刷製本費 84 千 780 円、通信運搬費 485 円、消耗品費 10 千 832 円、賃借料 187 千 980 円、租税公課千円、支払い手数料 3980 円、新聞図書費 16 千 814 円、雑費 270 円）

②協働の文化づくり事業

【内 容】 豊中市コミュニティ政策課と協働で、制度を使った協働事例の調査検討を行なった。また、市民や行政職員に向けての学びの場づくりを開催した。

【実施場所】 豊中市役所、文化芸術センター、すてっぷ、蛍池公民館など

【実施日時】 2018年4月～2019年3月

【収 入】 9 千 600 円

【支 出】 38 千 600 円（人件費 26 千円、交通費 3 千 600 円）

上記収入・支出は管理部門に含める。

③地域の事業者情報の収集と連携づくり

【内 容】 とよなかエコショップ制度運営にかかる情報収集及びホームページ運営を行った。

【実施場所】 当法人事務所、市内各店舗

【実施日時】 2018年4月～2019年3月

【収 入】 444 千 390 円

【支 出】 241 千 696 円（人件費 230 千円、旅費交通費 10 千 260 円、消耗品費 1436 円）

④ESD教材開発

【内 容】 ESDセミナーや出前授業で活用できるESD教材の開発を行った。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 2018年4月～2019年3月

【収 入】 0 円

【支 出】 0 円

3. ESDの情報収集・発信

【内 容】 ESDに関する情報を収集し、ホームページなどで発信した。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 2018年4月～2019年3月

【事業の対象者】 学校教育関係者・豊中市民・ESDに関心のある市民

【収 入】 0円

【支 出】 0円

4. 講師派遣

【内 容】 ESDセミナーのコーディネーターや保育所の職員研修、ボランティア研修を行った。

【実施場所】 千里図書館、東丘保育所、蛍池人権まちづくりセンター

【実施日時】 5/25, 10/26, 3/3, 3/9

【収 入】 72千500円

【支 出】 67千183円（諸謝金64千円、旅費交通費1280円、消耗品費1903円）

IV 社員総会の開催

・2018年5月23日（水）19:00～19:40まで「しょうないガダバ」にて2018年臨時総会を開催し、監事の交代について審議した結果、可決承認された。

出席者は、社員11名のうち議決権行使書か委任状提出者を含めて10名であった。

・2018年5月23日（水）19:40～20:30まで「しょうないガダバ」にて2018年社員総会を開催し、2017年度事業報告（案）と決算（案）、2018年度事業計画（案）と予算（案）について審議した結果、全て可決承認された。

出席者は、社員11名のうち議決権行使書か委任状提出者を含めて10名であった。

V 理事会運営

定例理事会をつぎのとおり開催する中で、団体のビジョンミッションの確認を行った。また、その理念に沿った事業展開ができてきているかの確認を行いながら、事業企画も進めた。

2018年度 定期理事会

第1回理事会 4月4日（水）

第2回理事会 7月2日（月）

第3回理事会 9月12日（水）

第4回理事会 10月10日（水）

第5回理事会 11月21日（水）

第6回理事会 1月10日（水）

第7回理事会 2月13日（水）

第8回理事会 3月27日（水）